

きらめき



第17期生 広報誌第2号

仲よく、明るく、楽しく



記載内容

自治会長挨拶
自主企画
施設見学

クラブ活動
学校行事
自由投稿
編集後記

東松山市 きらめき市民大学 第17期生自治会

平成31年2月27日 発行

【自治会長挨拶】

仲よく、明るく、楽しく

会長 鹿熊 敬三

皆さん、友だちづくりは、進んでいますか。クラスの人、クラブの人、学園祭で一緒に働いた係の人、休み時間によく顔を合わせる人等、たくさんの人を知りました。私たちは、知り合った人たちと、これから、もっと親しくなっていくことでしょう。

さて、きらめき市民大学に来て、もう一



初夏の授業で

年が終わろうとしています。いかがでしたか。
授業は、途中で休憩時間があって、よかったです。やはり、長い間集中して聞いているのは、年齢的にもつらいものがありますね。

昼食・休憩時間は、楽しく過ごせましたか。お弁当をクラスの人たちと一緒に、ワイワイガヤガヤと話しながら食べるのは、楽しいかぎりですね。

たいへんだったのは、学園祭の取り組みでした。あの体の動かし方は、年配者にはきついものがありましたね。昼休みがゆつくり取れなくて、なんとなく疲れが残ったまま、午後の授業でした。なんとなくならないものかと思っています。それでも、学園祭当日は、たくさんの方々が来校して、たいへん賑やかでした。つらかった係の仕事も、少し吹っ飛びました。

そして、3学期になり、課題研究の取り組みが始まりました。テーマを考えるのは、なかなか難しいですね。一人では心細いですが、みんなであればなんとかあります。自分ができる範囲で協力していけば、11月には、できあがることでしょう。そして、この長い取り組みが、友だちづくりにつながることと思います。楽しみですね。

【自主企画】

信濃路を旅して

くらしと健康学部 栗田 俊子

10月31日、午前8時大学集合、校外学習の始まり。天候に恵まれ「小布施」方面に向って出発しました。道路も混雑なく順調に進むにつれて、紅葉も黄色から橙色、赤色へと変わり、美しい晩秋の景観を織りなしていきました。

初めの見学場所は「懐古園」です。懐古園は、数回訪れています。心に残っている事があります。今は「藤村記念館」になっていると思いますが、そのあたりで「草笛」を吹いていた老人の笛の音色が思い出されました。「小諸なる古城のほとり、雲白く遊子悲しむ」の曲です。懐かしく周りを探していると、今は録音された音が保管されており、期せずして、あのもの悲しげな草笛の音色を懐かしむことが出来ました。又ここでは樹齢五百年と言われる「大ケヤキ」を眺め生命の神秘さを改めて感じさせられました。

次は「上田城」の見学です。かつて真田一族も愛でたであろう紅葉を今眺めながら、

時代の流れを感じました。そして昼食、流石「そば処」味も量も満足いくものでした。



懐古園の紅葉

最後は、行程の最終目的地「小布施」に向いました。自由見学ということ、「岩松院」に向いました。初めての拝観に心引きする思いでした。この寺は「北斎・正則・一茶」ゆかりの古寺とのことです。特に北斎の「八方睨み鳳凰図」は有名で、天井一面に描かれ、二百年近くも経過したとは思えない程、色鮮やかで迫力があり、見上げて

いると吸いこまれそうな気持ちになりました。又小林一茶の「やせ蛙まけるな一茶これにあり」の句碑がありました。病弱だった我が子を精一杯励ます父親としての姿を思い、心が熱くなるのを感じました。
午後6時無事に大学に到着、有意義な校外学習が出来ました。



上田城址

感動し、学び、楽しむ

国際・文化学部

大澤 栄

朝8時過ぎ、快晴の中、きらめき市民大を出発、東松山駅で全員が合流し、東松山インターに向かう。ここから関越、北関東道を経由し最初の目的地である「富広美術館」を目



車中にて 元気いっぱい

術館」を指した。バスの中ではお菓子や果物があちこちから回ってきて食べるのが忙しく、到着時間のクイズにもなかなか集中できない状況。40分ほどで

伊勢崎インターで高速を降り、「富広美術館」に到着した。美術館では、口に筆をくわえ描いた、とはとても思えない、水彩の詩画を通して、生命の尊さ・やさしさを語り続ける星野さんの作品を、ボランティアの方の解説を受け



わたらせ渓谷鉄道 通洞駅前にて

ながら鑑賞し、その迫力にいつの間にか予定時間を超過してしまいました。敷地内の遊歩道を通りバスに戻り、すぐ近くの昼食場所に向かう。おいしい食事だったが、ここまではお楽しみのアルコールはなしであった。食事を終えバスに戻ると、幹事から飲み物やおつまみが配布された。ほろ酔い気分です。次の目的地「足尾銅山」に向かう。銅山ではトロッコ電車で坑道に入り、その後、資料館をゆっくり見学、最後の行程であるトロッコ列車に乗車するため、速足で通洞駅に向かった。



トロッコ列車を待つ

今回の自主企画のメインイベントであるトロッコ列車乗車は、天候や時期に恵まれ、1時間半にわたり紅葉や渓谷美を楽しみ、いつの間にかほろ酔い気分が強くなってきました。

終点の大間々駅でトロッコ列車に別れを告げ、バスに乗り、きらめき市民大学を目指した。帰りのバスでは学園祭の疲れやアルコールの影響なのか、半数程度の方が夢をみながら、きらめき市民大学に到着し楽しい一日が終わりました。

歴史ドラマの舞台の鎌倉を訪ねて

歴史・郷土学部 岩井 正夫

古都・鎌倉への自主企画は、楽しく、有意義なバス研修旅行でした。心配だったお天気も、心地よい晴れの陽に恵まれ、鎌倉



歴史・郷土学部自主企画 鎌倉妙本寺

市内をゆっくりと散策できました。大学入学から約半年が過ぎて、学生相互に顔と名前がどうにか一致し、気心や意思疎通ができるようになり、更に、学園祭も無事終わり、達成感と安堵感に浸っている時期でした。「歴史・郷土学部」に籍を置いている以上、もっと日本の歴史を知りたいとの向上

心から、事前の行き先アンケートで希望の多かった「鎌倉」を選択しました。

参加者は23名(男性9名、女性14名)でした。

研修当日、予定の午前7時30分大学を出発、東松山駅西口に立ち寄り、一路東松山ICから、「関越・圏央道」に入り、渋滞もなく鎌倉市に到着しました。バスから降りて、徒歩で：

○妙本寺へ悲劇の比企一族を弔うために開山、参拝と全員集合写真撮影

○鶴岡八幡宮へ源頼朝公ゆかりの鎌倉を代表する神社、参拝を行い、昼食は美味しい「懐石料理」をいただき、休憩の後：

○若宮大路、小町通りを散策しながら買い物等を行い、鎌倉駅から「江ノ電」に乗って「長谷駅」に行き、徒歩で：

○長谷観音へご本尊は日本最大の木造仏参拝して、迎えのバスに乗り換えて、帰路の途中「江ノ島」を車窓から見学して一路大学に向かった。

帰りの車内では、疲れたが眠る間もなく
○脳トレの楽しいゲーム

○カラオケ等(約10名が熱唱)

して大いに盛り上がり、東松山駅西口到着の10分前まで行い、午後5時頃無事学校に到着しました。

今回の研修を通じて、学生相互の絆を深

く刻むことができたと思います。



鶴岡八幡宮

【施設見学】

施設見学の感想

くらしと健康学部 内田 六平

くらしと健康学部の授業の一環として、

市の施設見学を学部全員出席の下に行った。私たちの生活に無くてはならない『水』を生産し供給してくれる大事な施設である水道局を見学させて頂いた。施設に入ってもずびっくりしたのが、広大な敷地の広さであるが、上から見てただ見えるのは青々とした芝生と3か所くらいあるとても小さな建物でした。重要な浄水施設や揚水ポンプなどは総て地下に埋めてあって、雨水や雑



東松山市水道庁舎にて説明を受ける

菌は排除されるようになっていた。利用しているのは都幾川の伏流水だけかと思っただけなら、なんと行田の取水口から引いている県水を約70%程度利用している

無ければ人は死にます。職員の方々は毎日汚濁・黴菌(ばいきん)・pH等調べ市民が安全に生きられるよう努力しています。水と空気はただ、という時代は過ぎました。全部人間が過去から現在まで地球を食い物にして欲望を満たしてきたからだと思えます。自然を大切にしましょう。



日本赤十字社血液センター

昼食は庁舎内でいただきました。その後、日本赤十字社血液センターへ、ここは関東甲信越地方の1都9県で献血した年間17

5万人分の血液を受け入れ管理、供給業務を行っています。赤血球、血小板、血漿(けっしょう)などの輸血用血液を精製して、輸血用血液製剤は、365日24時間、医療機関の緊急要請に即時対応出来るような体制をとっています。日本に一台しかないという製剤機をガラス越しに見ましたが全然理解できませんでした。輸血剤は人の命を救います、献血しましょう

施設見学を終えて

国際・文化学部 坂本 雅美

平成30年11月7日(水) 落葉舞い散る秋晴の日、「地球観測センター鳩山」と「日赤埼玉血液製造所」の見学をしました。

前半、地球観測センターJAXA第二運用棟では、地球観測衛星の模型や衛星が宇宙から捉えた地球の画像を見ることができました。私達の生活している地球の環境状態を遥か宇宙から観測するリモートセンシング技術の確立・発展のために、緑豊かな自然に囲まれた鳩山町にJAXAがあることについても優れた環境であると聞きました。また巨大パラボラアンテナにより受信



地球観測センター鳩山 説明を受ける



巨大パラボラアンテナ 受信中

た後は「日本赤十字社埼玉製造所」へ行き、血液が輸血用血液製剤になるまでの工程と工場のラインで働いているスタッフの様子

した衛星からのデータは、日々筑波宇宙センターへ送っており、そこから国内外の研究機関や大学へコンピュータ処理して提供され、環境問題の解明や災害監視、資源調査など幅広い分野で利用されているという説明を聞きました。世界の架け橋となっているこのセンターが近隣にあることを誇り高く感じました。昼食をとつ

を見学しました。善意ある人々から提供された血液は、病気の治療、手術、事故等による緊急時に医療の支えとなっていて命を繋ぐ大切な血液です。しかし、現段階で人工的に輸血用の血液は作ることができず、また長期保存することもできないので、製造所の重要な役割があるのだと知りました。両施設とも、多くの人々の知恵と努力で成り立っていることがわかり、また移動する車中では、和みながら楽しく有意義な校外学習でした。

歴史・郷土学部の施設見学

歴史・郷土学部 木崎 光枝

11月21日(水) 天気・晴

参加者は、学生25名と事務局の矢部さんの26名です。

最初に訪れたのは、滑川町にあるエコミュージアムでした。ここには国の天然記念物に指定されている「ミヤコタナゴ」がいます。

ミヤコタナゴは今から約百年前、東京で発見された事からミヤコの名がつけられたコイ科の淡水魚です。小動物やプランクトンなどを食べて成長します。

都市化とともに姿を消し、滑川町の沼に生き残ったミヤコタナゴを絶滅から守るとともに、野生復帰を目指して飼育、繁殖にも取り組んでいるセンターです。

次は東松山市埋蔵文化財センターです。ここには、埼玉県で初めて発見された「三角縁陳氏作四神二獣鏡」があります。これは陳氏が作った鏡で、特徴としては縁の断面が三角形状になっている事。内側には、神様が四体と獣像二体が(龍や虎が多い)刻まれています。この文様がある面は裏側で、表側が綺麗に磨かれています。鏡の役目を果たしていますが、お化粧をする為の道具ではなく、お祀りの道具でした。丸い鏡は光を集める太陽の代わりとして大切にされたそうです。

「野本將軍塚古墳」の展示もありました。東松山市野本にある前方後円墳は、前期古墳時代の中では、埼玉県で最大、関東でも有数規模を誇る古墳と聞き驚きました。これからも古墳調査は、続けられるとの事です。

私達の住んでいる東松山の地で、新しい歴史が発見される事を楽しみにしています。



東松山市埋蔵文化財センターにて

【クラブ活動】

「きらめき音楽のつどい」

音楽クラブひばり

歴史・郷土学部 片山 あき子

音楽クラブひばりは、学生・OGによる「音楽クラブ」ひばりとして、新たに発足しました。音楽を通して、学生相互・OG



ひばりの皆さん

生・OGによる歌声を披露しました。他にボランティア活動、コンサート等への出演依頼があれば、拒まない予定です。練習はラジオ体操、発声

との交流を深めると共に、身体 の健康維持はもとより、心の健康増進を図る事を目的として、歌う事が大好きな人が、楽しく歌うクラブです。活動計画に基づいて活動しております。指導者は、ピアノの宮林薫先生、歌唱指導は部長の草場茂憲が担当し、副部長に片山、実行委員に塚原、木崎が担当しております。練習は、毎月(金)2回、3回、午後1時30分〜3時まで1時間30分、ひばりのように、15名が楽しく歌っております。歌は、美しいコーラス(野ばら社)で、日本の唱歌・童謡・抒情歌・外国曲・愛唱歌等を2年間で318曲を歌います。10月の学園祭では、発足後、初めての学

練習、軽いストレッチ。大きな口を開け、声を出す事により唾液の出が円滑になり、誤えん性肺炎予防にもなり、健康管理につながっております。練習後の皆さんの顔は、とても良い顔で帰宅されます。力一杯声を出すのは、大変気持ちの良いものです。家庭に帰っても、家事をしながら、ウォーキングしながら、何時でも歌があります。

パソコンクラブ ①

歴史・郷土学部 佐々木 洋子

今までパソコンを使用するのは月に何度か、あの会場に行くには何時の電車に乗って何処で乗り換えどっちの方向へ何分歩か調べる程度でしたが、パソコンをもっと使いこなせたらと思ひ、一歩踏み出し昨年クラブに入りました。現在クラブ員は14名。基本的なことからはじめるので初心者の方も安心してついていきます。経験者や上級者の人まで様々です。みんなパソコンに対する好奇心や探究心いっぱいの人ばかりです。分からない事が生じた時にはインストラクターの方が分かりやすく丁寧に教えてくれます。またクラブ員同士で教えあったり、

休憩時間にはお菓子などいただきながら歓談したり、食事会も楽しく美味しい一時でした。このように人と人との繋がりを大切



懇親会

に笑顔の絶えないクラブです。学園祭には、それぞれのお気に入りの写真を入れたカレンダーを作成して出展しました。思ったより良く出来て感動しました。クリスマスカードや年賀状作りと、出来る事が増えてきてパソコンクラブに入って良かったと思ひます。2年生になっても続けたいと思ひます。

【学校行事】

消防訓練

くらしと健康学部 工藤 哲朗

平成30年9月5日(水)午前、きらめき
市民大学正面の庭で行われた。

1 通報訓練 (事務室)

通報者 XXXXX

火災発見

通報者「電話119番する」

消防署「火事ですか、救急ですか」

通報者「火事です」

消防署「住所と名前を教えてください」

通報者「市内 大字松山2688ノ8

きらめき市民大学のXXXXXです」

消防署「わかりました、すぐ行きます」

この訓練は、一般家庭における火災の
際の通報に役立つと思われるので、事務
局にお願いして作成しました。

通報訓練をした感想を聞かせてください。
体験者『貴重な体験をさせていただきま
した。(事務局 清水)』

2 消火訓練

消火器の使い方を教えてもらい、実際



消火訓練



煙体験

3

煙体験

3〜4名1組で、小さなテント内に作
られた小部屋に煙が充満した状態の中
で出口を探して外へ出る。

煙体験をした感想を聞かせてください。

体験者『テントの中に入ると何も見え
ないので方向感覚がなくなりまし
た。無害の煙でも感覚が狂うのに有害の
煙が出ている火災に遭遇するとパニ
ックになると思いました。大変いい
体験でした。(工藤)』

スポーツ大会

グラウンドゴルフ大いに盛り上がる

国際・文化学部 高橋 芳信

10月3日心配していた天候だったがグラ
ウンドコンディションは最高。やや湿り気
もあり、玉の転がり具合も上々。

開会式で勇壮な選手宣誓があり、学生た
ちも意気高揚。笛の合図でショットガン方
式でスタート開始。オーバーあり、シヨ
ーで刻むものあり、ポストに50センチの距
離から3打なんてのもあったりして：



後コートチェンジ「やっぱ今日はこんなも
のかな」頼りのホ
ールインワンも
なし。順調に試合
は進んで、ゲーム
終了。結果58か。
昼食は会館に場
所を移し、ほっと
して会話も弾む。
担当委員はその
余裕もなく集計

作業。

今回ホールインワンは思ったほど出なか



平成30年10月3日 グラウンドゴルフ 大岡グラウンドにて

だったのでその配当金はなんと2倍。大枚二百円。

表彰式は学部対抗・個人対抗の順に自治会長から授与があった。次の通り（敬称略）

- | | |
|------|----------|
| 学部優勝 | 国際・文化学部 |
| 第2位 | 歴史・郷土学部 |
| 第3位 | くらしと健康学部 |
| 個人優勝 | 矢島國次 |
| 第2位 | 森田智子 |
| 第3位 | 福田國臣 |

【自由投稿】

私の趣味

くらしと健康学部 山本 美津子

私が吊るし雛に出会ったのは、十年前です。初孫誕生：何かプレゼントと思い、お雛様だと高額ですし、場所もとりますので、吊るし雛をと思い、本を何冊か買い求め、本を片手に試行錯誤して：娘と息子と両方が同時期女の子の誕生、記念に我が家にもと、1年かけて3個つくりました。今から思いますと丁寧さもなく、全体では出来たかなと？おもいませんが、昨年、市の広報に吊るし雛教室の募集の記



おくるみ人形

事があり、早速入部しました。基礎から丁寧に教えて頂き、夢中になりました。昼間は忙しいので、夜食事がすんだあと、針を持つのが楽しくなりま



完成

頃と違いますね（笑）、吊るし棚と枠は主人と友達のご主人さんにお世話になりました。学園祭に出展してから、家に飾って

した。娘にも上手になつたねと言われ、気を良くしています。私の教室ではちりめんではなく着物地で作ります。学園祭に向けて夏休みに眼が痛くなるほど頑張りました。若い

あります。老人二人の家が明るくなりまし
た。

これからは寒さに向かい畑仕事も一息出来
ますので、時間が沢山とれます。

作品にはそれぞれ言われがあります、例え
ば俵ねずみは子供をたくさん産んで働き者
に、俵は五穀豊穡の意味です。鳩は平和の
象徴、つるは千年長生きの象徴、その他の
作品も、子供が成長していく上でのいわれ
があります。作品をイメージしながら布地
集めも楽しいですよ。



俵ねずみ



つる

学園あれこれ

国際・文化学部 関口 茂

終戦・学制改革（旧制尋常小学校↓国民

学校、旧制県立中学校↓高校）により、そ
れぞれ6年間も同じ学び舎に過ごした。同
級生は、80歳代後半の現在も、展覧会・ゴ
ルフ・旅行・一杯？等誘い合い仲が良い。

東京通学し通勤55年。退職後ボランティア
活動及び町内会のお手伝いも一応済み、
「さて？」と思ったとき地元「青年の家」
が県から移管され、当局のご配慮で「きら
めき市民大学」が設立された。

学習意欲旺盛な市民は、「100人募集に454
人が応募」。：選考にもれた私は、友人の勧
めで「彩の国いきが大学」に進路を求め
た。

県内全域から作文等書類審査をパスした
115人が入学。地元の私は自治会長に推され、
元社長・校長・署長等多彩な経歴を持つ学
友の意見を参考に、2年間の学級運営を勤
めた。卒業後も校友会（松連協・県連協）、
さらに「こうねん大学」を経て、挑戦4年
目「きらめき市民大学」に入学を許された。

同期生全員が初の入学（2.1倍）、4学部
のうち郷土学部に進んだ。クラブはパソコ
ン、ゴルフ、農園に入部。また、企画委員
で当時は授業割、講師の選考等にも意見を
求められた。大学院（2年制・郷土歴史学
専攻、学生2人に講師1人）も経験。課題
研究結果を市民への「きらめき出前講座」

に活用した。

この度、13年ぶりに再入学を承認され、
若い学友に囲まれて毎日温かく接してい
ただき、感謝の日々を送っている。

私の趣味 喜び多き家庭菜園

歴史・郷土学部 福田 國臣

4年前に、健康と趣味と実益を兼ねた家
庭菜園を始



めようと
い立ち、先
ずは畑の土
地を貸して
くれるとこ
ろを探しま
した。運よ
く近所の知
り合いに、
近くの農家
の方を紹介
していただ
き、使って
いない畑が
あるからと、

何と一反(三百坪)の畑を貸してもらえるところになりました。しかし、趣味としてやるには、いささか広過ぎるので、取りあえず出来る範囲で使用させてもらうことにしました。

10年ほど使っていなかった畑なので、雑草の根が5センチ程の層になっており、その根の処理からの格闘になりました。健康のためにと始めた家庭菜園ですので、耕運機の機械は使わずに、スコップや鍬などによる手掘りの作業で、まずは三十坪の畑を1週間かけて耕しました。その後、五十坪、七十坪、九十坪と少しずつ広げていき、現在は百坪の畑を耕しています。勿論、今も手掘りです。



私は、今まで家庭菜園を含め、農作業をしたことがなかったので、インターネットにより、種を蒔く時期や苗を植える時期を調べたり、石灰や肥料の蒔き方を調べるな

ど一からのスタートでした。又、植える種類によっては連作障害があるということなので、畑を6区画に区切って順番に回すことにしました。

現在は、かなり経験を積んできましたので、植える種類も徐々に多くなり、葉物や根菜類、芋類等、1年を通して20種類以上の野菜類を作るようになりました。

我が家は夫婦二人なので、毎日の食事に野菜類を食べてはいるものの、その量は高が知れていますので、収穫された野菜の多くは、二人の息子の家とか知り合いの人へお裾分けして食べてもらっています。



実りの秋には孫たちを呼んで、10月はさつま芋掘り、11月には里芋、白菜、大根採りを行い、孫たちの黄色い歓声に目を細めています。家庭菜園は私にとって、作る喜び、収穫する時の喜

び、知り合いの「おいしかった」の一言の喜び、そして私の一番大事な健康である喜び等、いくつもの喜びが植えられている所であります。

【編集後記】

今回は、自主企画「施設見学」学校行事(スポーツ大会)を中心に、投稿をお願いしました。学部毎の見学場所の特色が、読み取れる様に書かれております。投稿頂いた皆様大変ありがとうございました。5月1日から、新元号が始まります。各学部の協力のもと、楽しく、元気に過ごせる「きらめき市民大学」にしましょう。次号は、秋の発行予定です。(片山記)

第17期生広報委員会	
くらしと健康	工藤 哲朗 辰巳 宏 手塚美喜子
	浅黄 勝 川合 秀之 長谷部春雄
国際・文化	福田 國臣 片山あき子 酒巻 恵子 島田多賀子 細川 忠利
	歴史・郷土